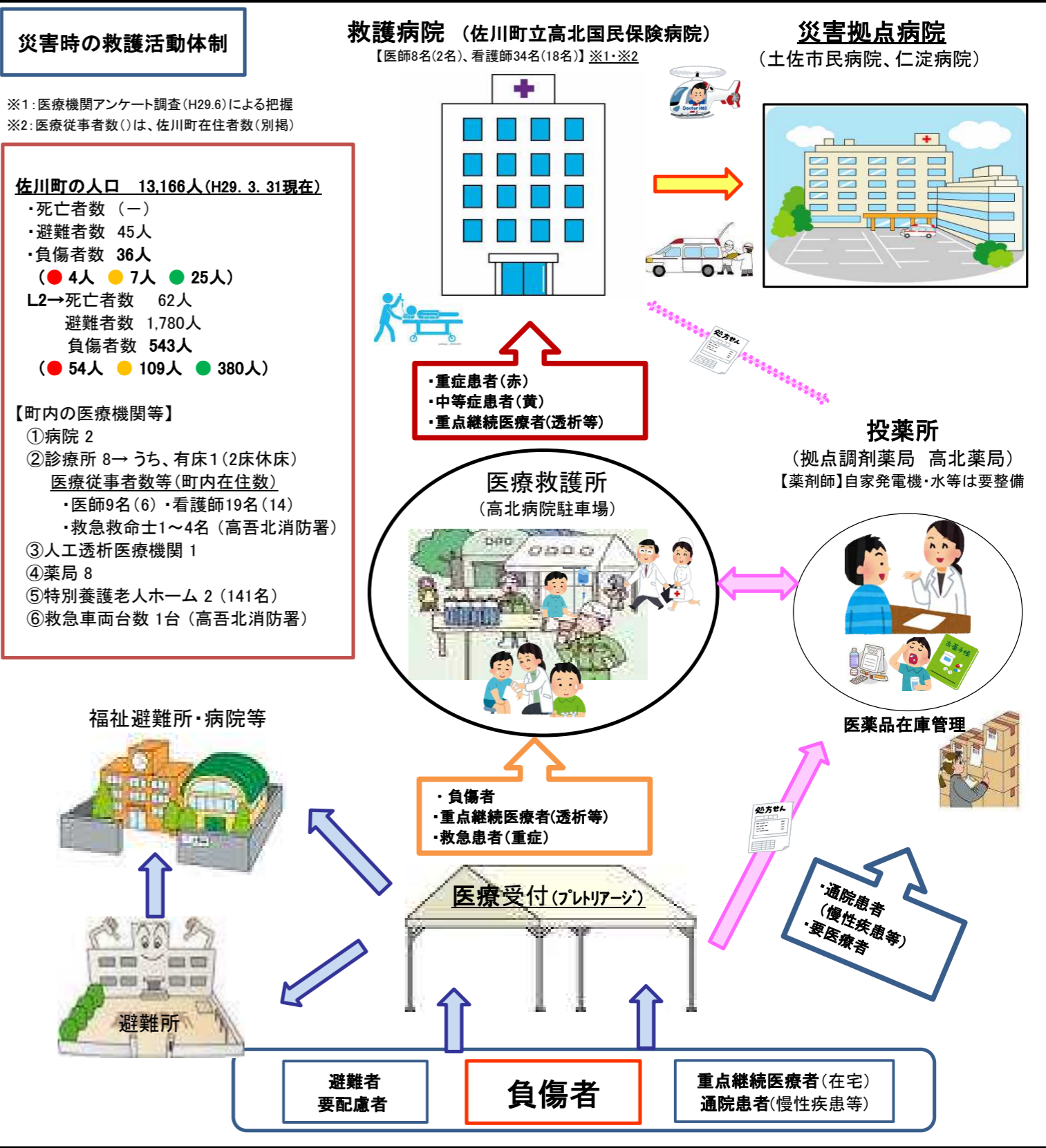
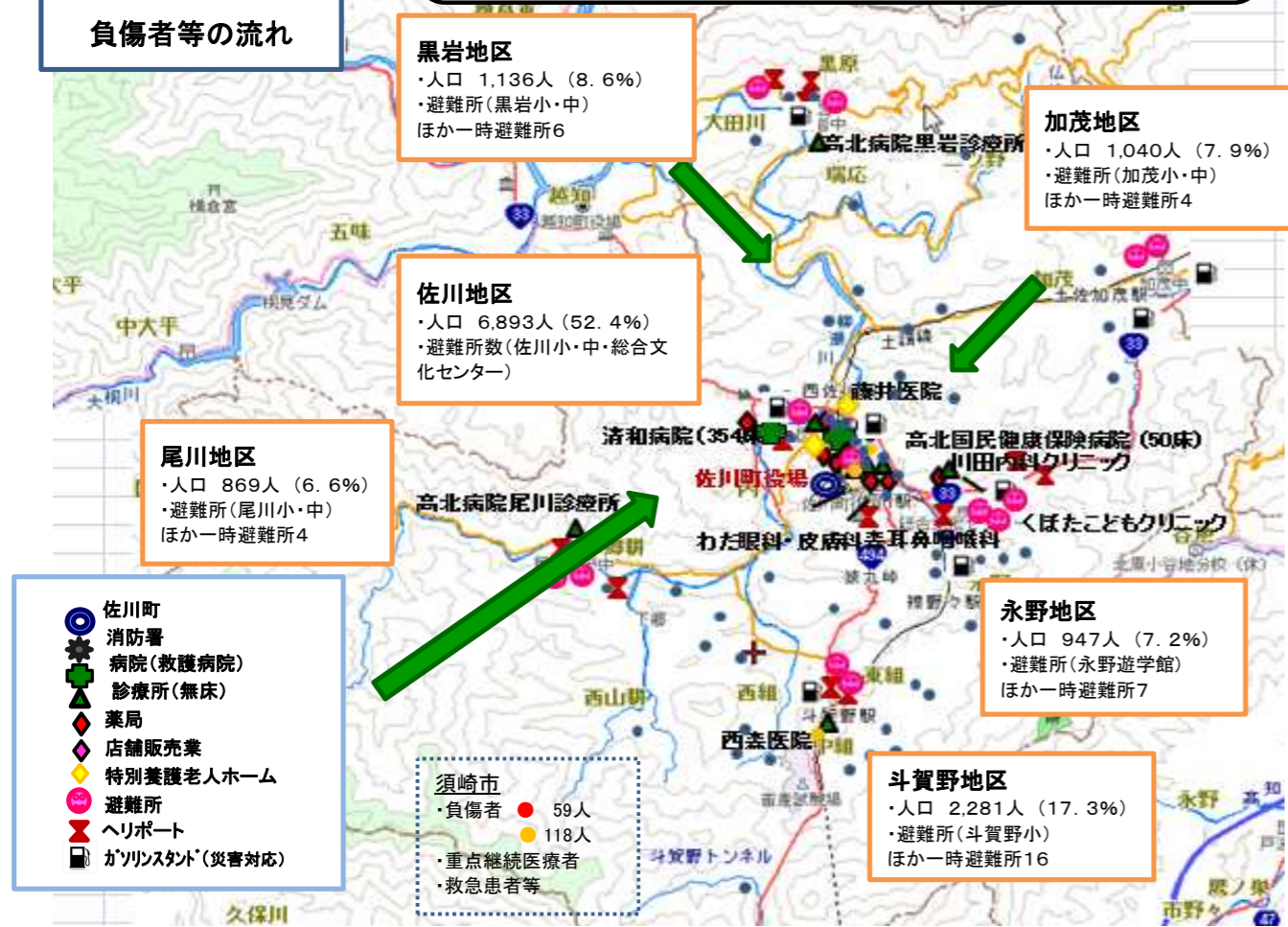
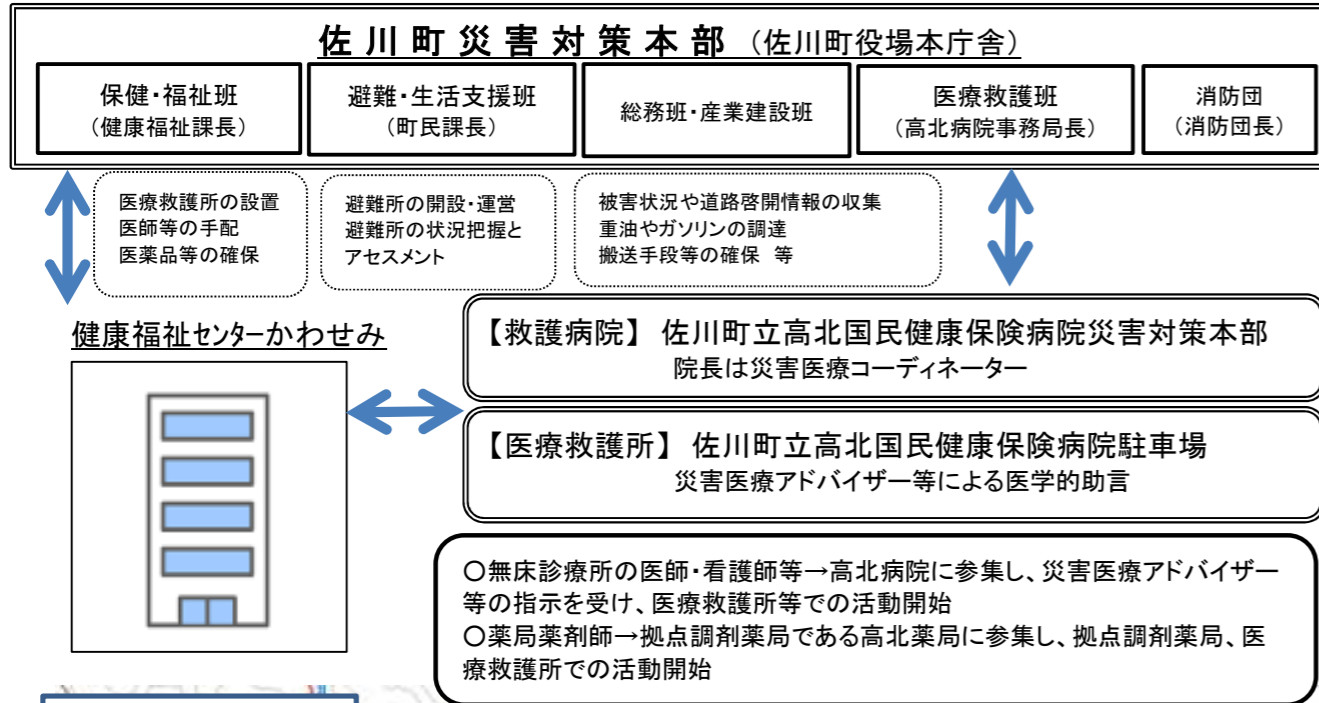


佐川町の医療救護の目指す姿 南海トラフ地震(L1)、夏の昼12時に発生したと想定

佐川町災害対策本部は、佐川町立高北国民健康保険病院長(県災害医療コーディネーター)等の医学的な助言を受け、町全体の医療救護活動の総合調整を行います。災害時は、佐川町立高北国民健康保険病院を核とし、町内の人や物を総動員し、官民協働の総力戦による医療救護活動体制を迅速に整備し、助かった命をつなぎます。



- 目指す姿の実現に向けた課題
- 1 住民への普及啓発: 町内の医療救護体制の周知、応急手当の習熟、避難時のお薬手帳や常備薬の持参
 - 2 医療従事者(医師・看護師・薬剤師)の応援体制の確立
 - 3 重症患者の災害拠点病院への搬送手段の確保
 - 4 関係機関との通信手段の確保
 - 5 災害医療救護訓練を通じた各機関の連携体制の強化